



土木學會會長 井 上 秀 二 氏

土木學會本年の會長に選舉せられたる井上秀二氏は明治三十六年の京都帝國大學土木工學科第一回出の秀才である。

土木學會の創立第一回の學術講演に於て技術家に稀な雄辯を揮つて以來、井上氏は土木學會の主事として常議員として亦副會長として因縁の深い人である。

躍進途上の土木學會が爰に新に井上會長を迎へた事は寔に意義深いものがある。井上氏は我國の上水道工事及水力電氣工事功勞者であるが、氏の平民的な性格から特に民間に於ての技術的指導者としての親みを感じるものである。